

はじめに

県土の約9割を占める中山間地域は、豊かな緑、風光明媚な自然・景色、豊富な水資源を蓄え、災害から地域を守るなどの大切な役割を担っています。

しかしながら、中山間地域の人口は、経済の高度成長を背景に大きく減少するとともに、少子高齢化の急速な伸展による地域の後継者不足は、将来的に地域社会の維持を困難にすることが懸念されています。加えて、森林の荒廃、耕作放棄地の増加、生活交通基盤の縮小、情報通信基盤整備の遅れなどにより、森林の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止等といった公益的機能の維持や、集落機能の維持・存続が危ぶまれる状況が生じています。

このようなことから、県では、中山間地域に暮らす人々の安心・安全な暮らしを確保し、県民みんなでこの地域を守り育てるため、平成20年10月に「鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例」を制定（平成24年3月一部改正）し、県民一丸となって地域の課題解決に向けて取り組んでいるところです。

一方、県下の中山間地域において、他の地域の方々による農地や森林を維持・活用するためのボランティア活動、都市部から移住された方による農業や地域活動への参加、互いに足りないところを補い協力し合うまちとむらの交流、企業による地域の高齢者等の見守りや森林の保全活動など、様々な立場の方々が発自的・主体的に地域にあった特色のある活動を行い、地域を支え合うなどの新たな取組も行われつつあります。

また、この中山間地域においては、先人たちが長い年月をかけて守り育ててきた貴重な資源である自然・景観、伝統行事、郷土料理等（「地域の宝」）を大切に守り育て、活用する取組（「地域力」）が、古くから集落や自治会、保存会などで積極的に行われているところですが、その取組は世間一般に広く知られていない状況にあります。

そこで、本書では、これら地域の活動を「地域の宝」と特色付け、魅力のある「地域の宝」を大切に守り続け、積極的に活用されている「地域力」を、県民の皆様幅広く紹介させていただくことで、地域に内包されている地域の力にあらためて注目していただき、中山間地域の良さや重要性を再認識していただくきっかけになればと考えています。

なお、本冊子は、平成21年度、平成22年度に取材した内容について時点修正を加え、「平成24年度改訂版」として作成しました。

本書を作成するに当たり、紹介させていただいた皆様をはじめ、御協力をいただきました多くの方々に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成24年9月

鳥取県企画部地域づくり支援局長 岡崎 隆司